

【歴史的分野での指導展開例（2年）】

時間	学習活動	指導内容や指導上の留意点	資料等
導入	<p>1 北方領土問題について振り返る。</p> <p>2 学習課題をつかむ</p> <p>北方領土はなぜ占拠され、四島返還に向けて両国でどんな取り組みが行われてきたのだろうか？</p>	<p>○ 現在、北方領土がロシアだけの居住地になっており、日本の漁船が周辺海域で自由に操業できないことを思い出させる。</p> <p>○ 授業実施の時期については学習内容からも終戦後のサンフランシスコ平和条約や日ソ共同宣言を取り扱う単元を想定している。</p>	地図 資料 ワークシート
展開	<p>3 日露間の国境の変遷と現在の状況を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日魯通好条約 ・樺太千島交換条約 ・ポーツマス条約 ・サンフランシスコ平和条約 ・日ソ共同宣言 <p>4 日ソ共同宣言後の北方領土問題の解決に向けた取り組みについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際司法裁判所への付託提案(1972年) ・東京宣言(1993年) ・クラスノヤルスク首脳会談やイルクーツク首脳会談など <p>5 陸奥宗光や小村寿太郎が条約改正に成功した際の当時の日本国民の動きについて話を聞く。</p>	<p>○ 国際法上の視点からも北方領土が一度も外国の領土になったことがない日本固有の領土であることを理解させる。</p> <p>○ 8月14日のポツダム宣言を受諾した後、ソ連が侵攻してからの占拠が続いていることに注目させる。</p> <p>○ サンフランシスコ平和条約にソ連は調印をしていないことにも確認しておく。</p> <p>○ 対日参戦で獲得した領土であるというロシア側の主張に気付かせながら「平和条約を結び、法と正義に基づいて解決する」という点で両国間が一貫していることに気付かせる。</p> <p>○ 当時の日本国民が条約改正を求める国民運動を展開させてきたことを示すビゴアの絵を示しながら、元島民をはじめとする日本国民が返還要求運動を展開していることの重要性に気付かせる。</p>	資料 ワークシート 資料 ワークシート 資料
まとめ	6 北方領土問題が起きた理由や北方領土返還をめぐる日ロ間の交渉の経緯を整理する。	○ 過去に締結した条約等からみても日本が領有権を主張する正当性があることを理解させ、問題解決に向けて自分に何ができるかを考えさせながらまとめさせる。	ワークシート